

調査観測計画部会の検討状況について

平成 1 3 年 1 月 2 3 日
調査観測計画部会

調査観測計画部会は、平成 1 2 年 4 月に第 2 1 回会合を開催し、基盤的調査観測計画の進捗状況を関係機関から聴取するとともに、今後の部会の進め方等について自由討議を行った。同年 6 月第 2 2 回会合では、地震に関する基盤的調査観測計画（以下「基盤計画」という。）の見直しについて議論を開始した。

同年 8 月の第 1 7 回政策委員会以降については、同年 1 0 月 1 7 日に第 2 3 回、本年 1 月 1 7 日には第 2 4 回会合を開催し、引き続き基盤計画の見直しの議論を進めている。なお、第 2 4 回会合において、基盤計画の各事項についての議論が一巡した。今後、引き続き議論を進め、今年 8 月の政策委員会には基盤計画の見直しについての取りまとめを報告したい。

これまでの議論のポイント

- ・ 基盤計画の進捗状況の調査を行い、それを踏まえて基盤計画を見直す。
- ・ 海域における調査研究の在り方について検討が必要である。
- ・ 地殻構造調査の今後の進め方について検討する。
- ・ 地震調査委員会の長期評価の結果に基づき重点的に行う調査観測について検討する。（基盤計画に取り込む必要性が高いことから検討会を開催し集中的に議論することとなった。）
- ・ 実効性ある計画とすることが必要であり、実現可能性を考慮して優先順位をつけた計画であることが必要である。
- ・ 鳥取県西部地震については、この地震に対する調査は研究要素が多いため基盤的調査観測計画に位置付けるのは難しく、活断層以外で大きな地震が発生することについては、鳥取県西部地震の調査研究結果を踏まえ、本部会で検討していくことが適当とされた。なお、現在進めている 9 8 断層帯の調査は引き続き推進することとされた。